

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公開番号】特開2013-137519(P2013-137519A)

【公開日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-037

【出願番号】特願2012-244530(P2012-244530)

【国際特許分類】

G 0 3 G 5/06 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 5/06 3 7 6

G 0 3 G 5/06 3 7 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月14日(2015.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

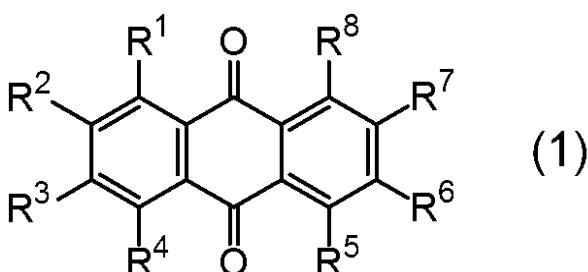
【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体、該支持体上に形成された電荷発生層、および該電荷発生層上に形成された電荷輸送層を有する電子写真感光体において、

該電荷発生層が、電荷発生物質および下記式(1)で示される化合物を含有することを特徴とする電子写真感光体。

【化1】



(式(1)中、R¹～R⁸は、それぞれ独立に、水素原子、ハロゲン原子、カルボキシル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニル基、置換もしくは無置換のアシリル基、置換もしくは無置換のアルキル基、置換もしくは無置換のアルコキシ基、置換もしくは無置換のアリールオキシ基、置換もしくは無置換のアミノ基、または、置換もしくは無置換の環状アミノ基を示し、R¹～R⁸の少なくとも1つは、置換もしくは無置換の環状アミノ基である。)

【請求項2】

前記置換もしくは無置換の環状アミノ基が、モルホリニル基、ピペリジノ基またはピペラジノ基である請求項1に記載の電子写真感光体。

【請求項3】

前記置換アルキル基の置換基、前記置換アルコキシ基の置換基、前記置換アリールオキシ基の置換基、前記置換アミノ基の置換基が、カルボキシル基、シアノ基、ジアルキルアミノ基、ヒドロキシ基、アルキル基、アルコキシ置換アルキル基、ハロゲン置換アルキル

基、アルコキシ基、アルコキシ置換アルコキシ基、ハロゲン置換アルコキシ基、ニトロ基、またはハロゲン原子である請求項 1 または 2 に記載の電子写真感光体。

【請求項 4】

前記電荷発生物質が、フタロシアニン顔料である請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体。

【請求項 5】

前記電荷発生層における前記式(1)で示される化合物の含有量が、前記電荷発生物質に対して 0.1 質量% 以上 1.0 質量% 以下である請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体。

【請求項 6】

前記電荷発生層における前記式(1)で示される化合物の含有量が、前記電荷発生層の全質量に対して 0.05 質量% 以上 1.5 質量% 以下である請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体と、帯電手段、現像手段、転写手段及びクリーニング手段からなる群より選ばれる少なくとも 1 つの手段とを一体に支持し、電子写真装置本体に着脱自在であることを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 8】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体と、帯電手段、露光手段、現像手段、および転写手段を有することを特徴とする電子写真装置。